セミナー No.０６０６

第１０期生

生産技術マン養成講座

基本編

設計から製造に至るプロセスをスルーで見て改善するための基礎を学ぶ５日間のプログラムです。

こんな問題で困っていませんか？

- 設計（図面）に対して、つくり易さの観点から意見が言えず、生産現場で不良の発生や工数がかかっている
- 生産準備段階で安全・品質・生産性を加味したライン設計ができず、立ち上げ後に改善の工数や費用がかかってしまう。
- 現場での問題点をくみ上げ、工程や設備設計に繋げられる仕組みが無く、人材も育っていない

商品ライフサイクルや事業の短命化により、海外や国内における新ラインの立上げ、更新が頻繁に行われる様になり、変化への対応とコストダウンが求められる経営環境の中で、生産技術者の果たす役割がますます重要となっています。今後の日本企業が競争優位を高めていく為には、現場と設計の橋渡しをする生産技術マンがＱＣＤを満たす効果的なプロセスをスルーで見て設計できることが非常に重要となります。

point 1

効率的な生産プロセスを設計するために
必要な生産技術の基礎知識の習得

point 2

座学だけでなく、
実践型演習を通して理解を深める

カリキュラム

第1単元　生産技術の役割　図面の見方・工程の書き方

生産技術とは
- 生産技術の位置づけ
- 生産技術の対象領域

演習Ⅰ

図面の見方･書き方
- 投影法　・断面法　・寸法記入

演習Ⅱ

工程図の書き方
- 工程図の位置づけ
- 工程図の考え方

演習Ⅲ

第2単元　生産プロセスの考え方（つくり易さ設計・工場レイアウト）

生産プロセスの考え方
- 自社工場に合ったものつくり検討
- 検討のポイント
- 事前準備･検討項目

つくり易さ設計
- つくり易さからのコスト削減の考え方
- 事例

演習Ⅰ

工程レイアウト(物流)の考え方
- 生産プロセス設計手順
- 工場形態でのレイアウト検討
- 製品の流れに準じたレイアウト

演習Ⅱ　工場レイアウト作成

第3単元　生産準備の考え方　工程設計（設備レイアウト）

生産準備の考え方
- 生産準備業務の概要
- 構想設計DRと生産工程構想
- 試作DRと工程設計

工程計画
- ものづくりと原価
- リードタイム

演習Ⅰ　演習Ⅱ

･工程の流れ化

設備設計(設備レイアウト)
- 工程設計の考え方

演習Ⅲ　加工ラインでの検討

演習Ⅳ　組立ラインでの検討

第4単元　設備設計　現場の工数低減に繋がる設備

設備計画
- 設備計画の位置づけ
- 投資計画の策定

演習Ⅰ

治具設計
- 基本設計の考え方
- 作業性と段取性

演習Ⅱ　治具設計

設備仕様とは
- 必要資料として準備するもの
- 加工条件等の準備

･現場の工数低減に繋がる設備

演習Ⅲ　設備仕様書の作成

第5単元　自社のラインを考える　― 儲かる工場 ―

儲かるものつくり工場
生産準備業務の最終章
- 生産準備ステップでの仕上げ
- QCDの達成状況
- 評価の見える化によるロスの顕在化＆事前管理
- ロスの見える化

演習Ⅰ　演習Ⅱ

･ロス改善
･原価改善活動

生産技術者への保全への関わり方
設備保全の最低限必要な知識

演習Ⅲ　模擬ラインでの生産現場実習

参加者の声

- 生産技術として、新製品の企画・設計から量産までの流れにどう関わるべきか学べた。（A 株式会社　Ⅰ様）
- 生産技術者として必要なスキル、やるべき事を理解できました。自分の知識が足りない部分が分かり、良い講習になった。実習では、レイアウト検討をレゴブロックで実際に考えながら検討できたので、流れや物流を意識したレイアウトを効率よく学ぶことができた。（T 株式会社 M 様）
- 新設された生産技術部に配属され、右も左も分からなかったが、基本的な考え方から教えてもらえた事が良かった。特に工程設計は今までの業務では考えてこなかった事なので、本講座で考え方が身について良かった。（T 株式会社 W 様）

詳細

- 日　時：2024 年 10/10・11/7・12/12・1/16・2/13(全 5 回) 各日 10:00 ～ 17:00
- 会　場：中産連ビル（名古屋市東区白壁 3-12-13）
- 講　師：一般社団法人中部産業連盟　委嘱コンサルタント　髙橋　良彰 氏
- 参加費：121,000 円（中産連会員）　143,000 円（会員外）　※税込価格
- 対　象：生産技術部門の監督者・中堅社員、工程改善に携わる方
- 申　込：別添お申込書にてFAX･メールいただくか、当連盟HPよりお申込みください